

令和8年度 学校経営方針

伊勢崎市立境北中学校

学校教育目標

《目指す生徒像》『自身に誇りを持ち、高みを目指して挑戦・集中・継続ができる生徒』

【自立】 社会に必要な学力、体力、判断力、礼節を身に付けた生徒

【共生】 他を思い、自己を最大限に発揮できる生徒

【貢献】 地域、社会に貢献できる生徒

1 生徒の生命・身体の安全を守ることが最優先

「明日が楽しみになる学校」の基盤は、揺るぎない安心・安全にある。子供の命を守り抜くことは、教育の前提条件である。

- ①緊急時には現場の迅速な判断を尊重し、組織として一丸となって対応する。
- ②生徒が心身ともに安心して過ごせる場(P-room・保健室等)を保障する。
- ③健康要配慮生徒の情報共有を徹底し、全教職員で共通理解を図る。
- ④保護者との丁寧な情報共有を行い、パートナーとしての強固な信頼関係を築く。
- ⑤実感を伴う危機管理研修を実施し、全参加者が当事者意識をもって備える。
- ⑥「熱中症対策マニュアル」に則った的確な指導・対応を徹底する。
- ⑦基本的な感染症対策を継続し、健康状態の把握と適切な環境保持に万全を期す。

2 豊かな心の育成

～教職員の「笑顔」が、子供たちの心の成長を支える最良の教育環境となる～

- ①自己肯定感・自己有用感を高める指導
主体性を引き出す場を意図的に設定し、「自ら考え決定し、動き出す力」を育む。
- ②特別支援教育的な視点に立った「チーム支援」
役割分担を明確にし、授業のユニバーサルデザイン化を組織の標準とする。
- ③「なりたい自分」を目指す粘り強い心の育成
キャリア・パスポートや生活記録ノートを活用し、「目標→行動→振り返り」のサイクルを確立する。
- ④誰もが安心して過ごせる居場所づくり
他者の話を最後まで遮らずに聴く姿勢を大切にし、多様性を認め合う「発達支持的生徒指導」を推進する。

3 確かな学力の育成

～「その指導は子供の成長に繋がっているか」を常に問い、学ぶ楽しさを伝える～

- ①主体性を引き出す授業の工夫
教師が「させる」授業から生徒が「主導する」授業へ転換し、知的好奇心を刺激する。
- ②自律した学習者の育成
生活記録ノート「じぶんログ」や学習の手引き、SSPカード等を活用し、生徒自身が学習課題を柔軟に調整できる力を養う。
- ③目標と達成感の獲得
朝PUやチャレンジコンテストを通じ、努力の過程が適切に賞賛される場を設ける。
- ④教職員の学び合い
校内研修を活性化させ、専門性と指導力の向上を組織的に図る。

4 保護者、地域、境采女小と連携・協働した教育の推進

～「生徒のより良い成長」という共通のゴールに向けたチームを構築する～

- ①安全指導・環境整備
保護者と協力し、通学路の安全確保や登下校指導を強化する。
- ②地域への発信と参画
学校情報を積極的に発信し、公民館事業や地域行事への生徒の主体的な参加を促進する。
- ③境采女小学校との小中連携
合同挨拶運動や連携研修を通じ、義務教育9年間の切れ目のない支援を行う。

5 組織・運営における指針

～教職員が誇りをもって健やかに働ける、風通しの良い職場を創る～

- ①組織としての基本姿勢
迅速・真摯・丁寧を旨とし、「報告・連絡・相談」の徹底により、一人で抱え込まない相談文化を醸成する。
- ②生徒指導の要諦
組織的・迅速な対応を基本とし、「後手は言い訳、先手は説明」の意識で保護者と誠実に連携する。
- ③特別支援教育の充実
専門機関と連携し、チーム一丸となって一人一人の特性に応じた学習支援を具現化する。
- ④危機管理の視点
服務規律を厳格に保持し、「記憶より記録」を徹底する。
悲観的に準備し、冷静かつ客観的な事実に基づき対処する。
- ⑤働き方改革の推進
私生活の充実を尊重し、「お互い様」の精神で休暇を取得しやすい風土を築く。
業務を精査し、子供と向き合う時間を最大化する。

【期待する教師像】

- 常に「子供たちのために…」という視点で考え、行動できる教師
- 安心・安全を最優先し、自ら命を守る生徒を育成することができる教師
- 学びの楽しさを伝え、生徒の探究心を引き出す授業に挑戦する教師
- 「自分で考え、自分で決めて、自分で動き出す」子供たちを育成できる教師
- 一人一人の良さを見出し、可能性を伸ばせる教師
- 愛情と包容力をもって生徒に寄り添い、頑張りを認められる教師
- 自らも夢や目標をもち、生き生きと職務に取り組む教師
- 子供たちの前で、いつも明るく元気な教師
- 広い視野をもち、多角的な視点で子供たちを見つめる教師
- 向上心をもち、謙虚にあらゆるものから学ぼうとする教師
- 自分の言葉で、自分の思いを誠実に伝えられる教師
- 柔軟な発想と創意工夫で、より良い方法を模索し続ける教師
- 多様性を認め合い、他者と共生できる子供たちを育成できる教師
- 組織を重んじ、同僚と協力・連携して職務にあたる教師